

～人を豊かに、地球を美しく～

貴金属・環境・食品分野のソリューション提供企業

第72期（2021年3月期）

決算説明



2021年5月27日

— お問合せ先 —

執行役員IR部長 田中善則

TEL：(03) 5381-0728

FAX：(03) 3349-0867

<https://www.matsuda-sangyo.co.jp/>



決算の概要

2021年3月期



連結業績 (2021年3月期)

単位：百万円

	20/3期通期 (前期)	21/3期通期 (当期)	前期比 増減(率)		22/3期通期 (来期予想)	当期比 増減予想(率)	
売上高	210,976	231,559	+20,583	+9.8%	230,000	▲1,559	▲0.7%
営業利益	6,241	8,038	+1,796	+28.8%	8,200	+161	+2.0%
営業利益率	3.0%	3.5%	+0.5%pt	—	3.6%	+0.1%pt	—
経常利益	6,384	8,369	+1,984	+31.1%	8,600	+230	+2.8%
税引前利益	6,266	8,706	+2,439	+38.9%	—	—	—
当期純利益	4,046	6,098	+2,051	+50.7%	6,100	+1	+0.0%

- ・ 2021年3月期の業績は、貴金属関連事業の好調により、前期比増収増益を達成。
- ・ 売上高、当期純利益は、過去最高の実績。

セグメント別の業績（2021年3月期）

貴金属関連事業

単位：百万円

	20/3期実績 (前期)			21/3期実績 (当期)			前期比増減	
	上期	下期	累計	上期	下期	累計		
売上高	60,617	70,108	130,726	73,011	80,076	153,087	+22,361	+17.1%
営業利益	2,364	2,569	4,933	3,266	3,567	6,833	+1,899	+38.5%
営業利益率	3.9%	3.7%	3.8%	4.5%	4.5%	4.5%	+0.7%pt	—

- ・売上高は、前期比17.1%増収。営業利益は、前期比38.5%増益。
- ・電子部品・デバイス分野の生産活動好調により、貴金属リサイクル取扱量及び金製品等の販売量が増加。
- ・貴金属相場が全体的に上昇。
- ・産業廃棄物の処理は、廃棄物発生量が減少し処理受託量が減少。

※セグメント別売上は外部売上高を使用しております。

セグメント別の業績（2021年3月期）

食品関連事業

単位：百万円

	20/3期実績 (前期)			21/3期実績 (当期)			前期比増減	
	上期	下期	累計	上期	下期	累計		
売上高	41,026	39,223	80,250	38,665	39,806	78,472	▲1,774	▲2.2%
営業利益	847	460	1,307	402	802	1,204	▲103	▲7.9%
営業利益率	2.1%	1.2%	1.6%	1.0%	2.0%	1.5%	▲0.1%pt	—

- ・売上高は、前期比2.2%減収。営業利益は、前期比7.9%減益。
- ・巣ごもり需要により家庭用需要は増加したものの、業務用需要の縮小により全体的に厳しい市場環境。

※セグメント別売上は外部売上高を使用しております。

○ 連結貸借対照表・キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

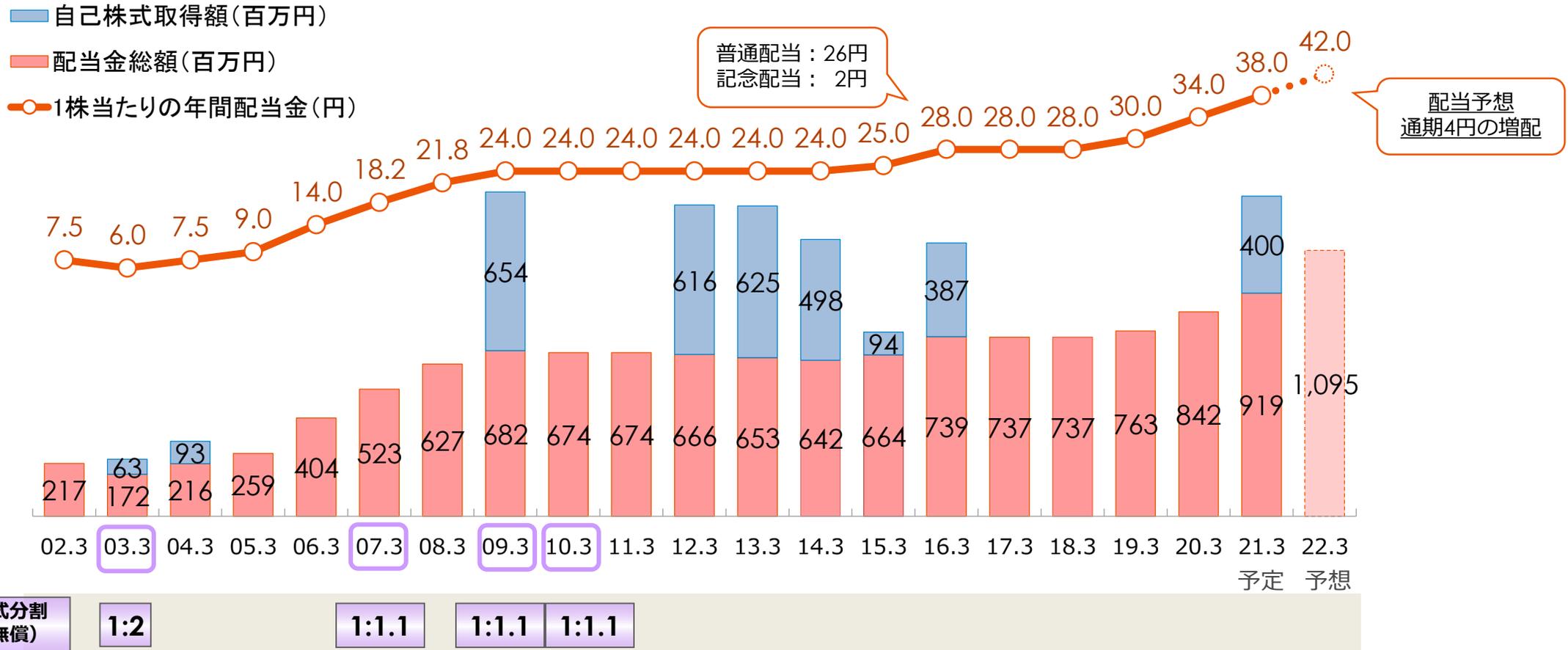
(連結)	20.3期末	21.3期末	増減	主な増減要因
流動資産	68,398	76,482	+8,083	棚卸資産6,761、売上債権3,965
固定資産	26,110	27,783	+1,672	関工場生産設備および新規設備等
資産合計	94,509	104,265	+9,756	
流動負債	24,168	29,343	+5,175	買掛金1,846、短期借入金1,984
固定負債	9,813	9,315	▲ 498	
うち有利子負債	15,429	17,296	+1,866	
負債合計	33,982	38,659	+4,677	
純資産合計	60,527	65,605	+5,078	
負債純資産合計	94,509	104,265	+9,756	
自己資本比率	63.9%	62.8%	—	
	20.3期	21.3期	増減	
営業キャッシュ・フロー	▲ 422	185	+607	
投資キャッシュ・フロー	▲ 2,674	▲ 3,181	▲ 507	
フリーキャッシュ・フロー	▲ 3,096	▲ 2,996	+100	

		2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	中期経営計画 目標
連 結	売上高	2,109億円	2,315億円	2,300億円	2,200億円
	営業利益	62億円	80億円	82億円	55億円
	営業利益率	3.0%	3.5%	3.6%	2.5%
	自己資本利益率	6.8%	9.7%	—	6.0%

※中期経営計画の目標を1年前倒しですべて達成

株主還元

成長投資のための内部留保とのバランスを考慮しつつ、株主様への安定かつ持続的な配当を実施する事により、株主様の期待に応じてまいります。
 なお、次期の配当については、通期で4円増配の42円を予想しております。



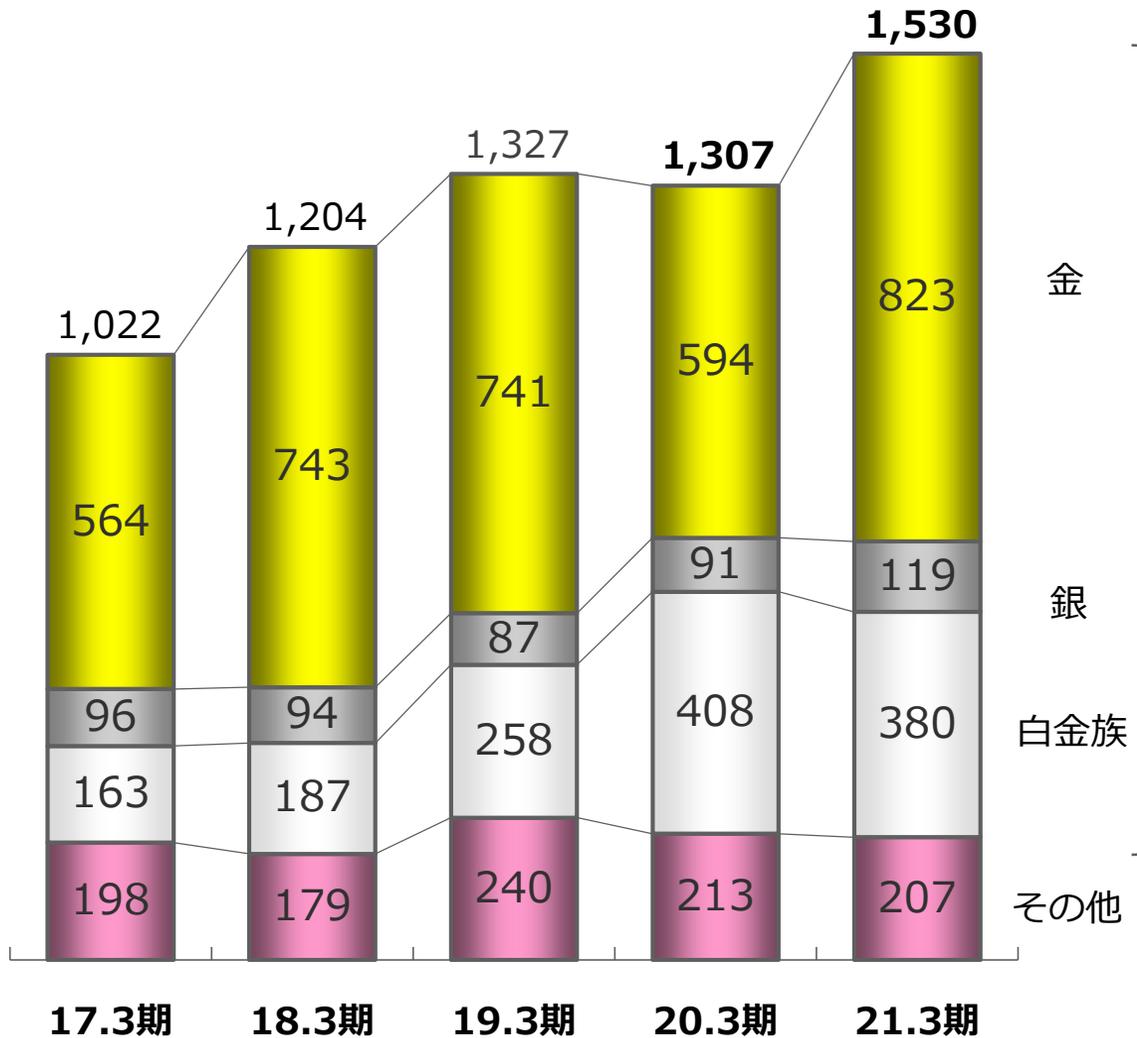
(注) 1株当たりの年間配当金は、株式分割の影響を補正しています。

- セグメント別の売上高
- 通期の業績予想
- 設備投資の状況



品目別売上高の推移 <貴金属関連事業>

単位：億円



売上高： 223億円 増加

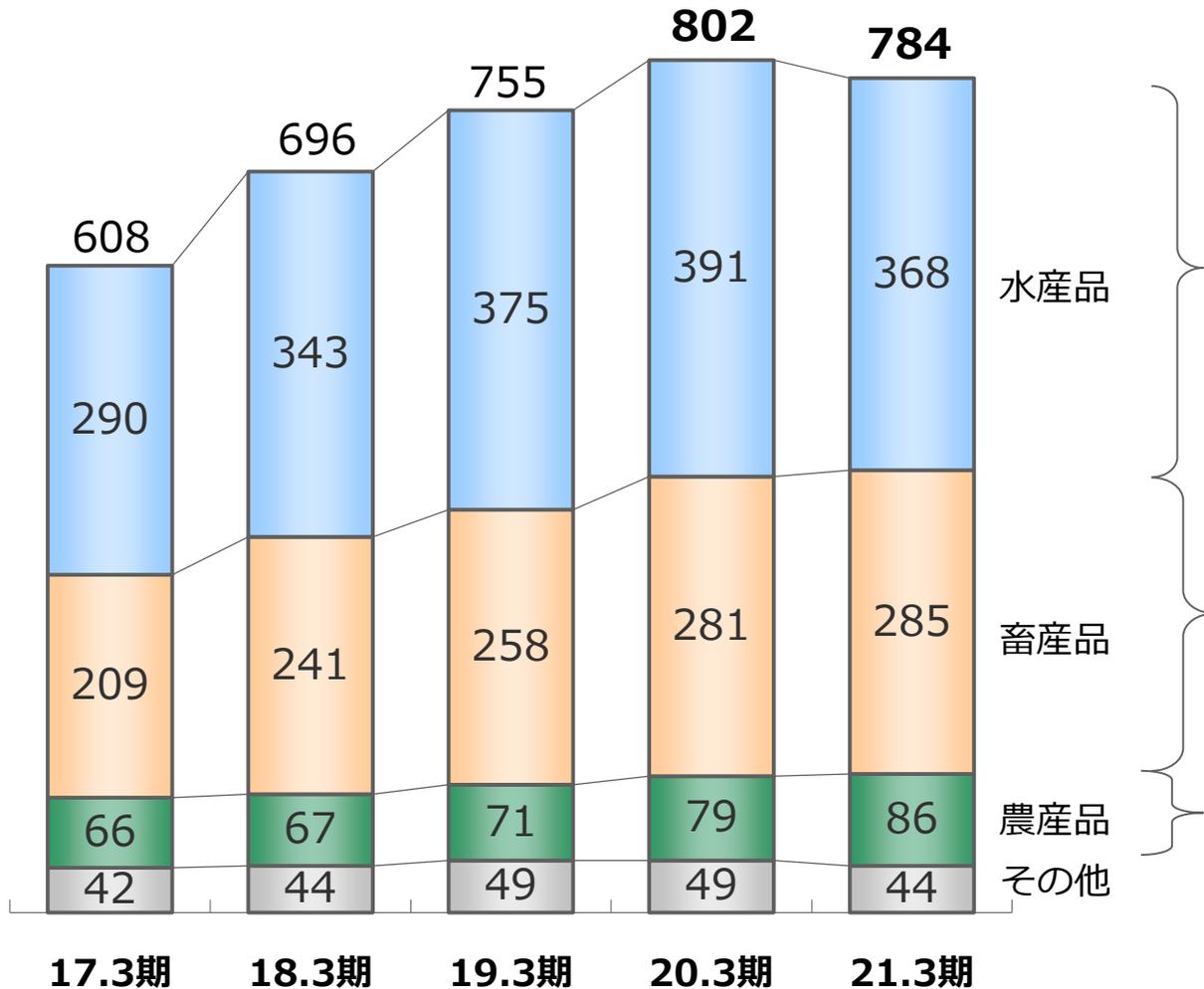
前期比増減要因

- 金製品は、数量増加・単価上昇により売上増加。
- 銀製品は、単価上昇により売上増加。
- 白金族製品は、単価上昇したものの売上減少。

製品
・貴金属地金
・めっき用化成品等

品目別売上高の推移 <食品関連事業>

単位：億円



水産品
すりみ
イカ、エビ等

畜産品
鶏肉、豚肉、牛肉、
鶏卵 等

農産品
冷凍野菜、乾燥野菜等

売上高：17億円 減少

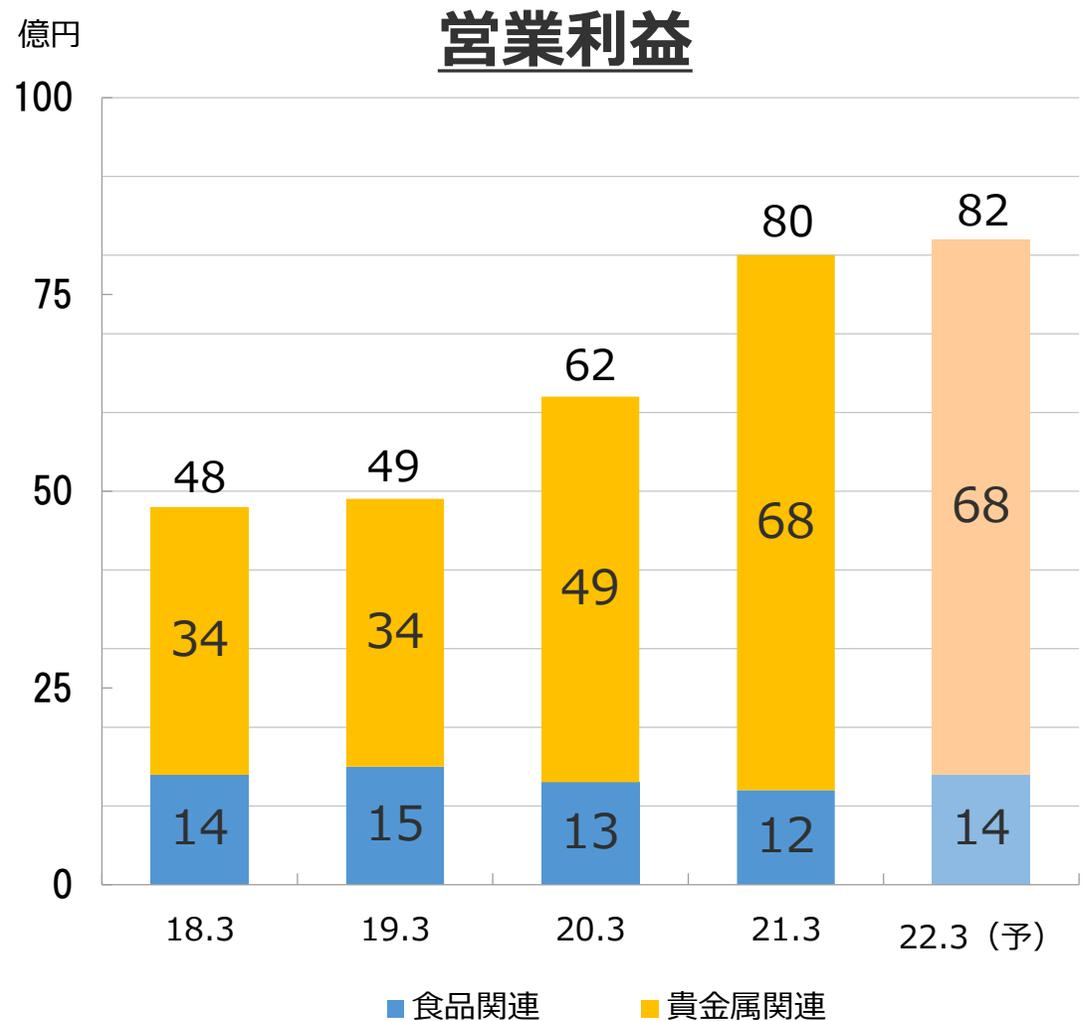
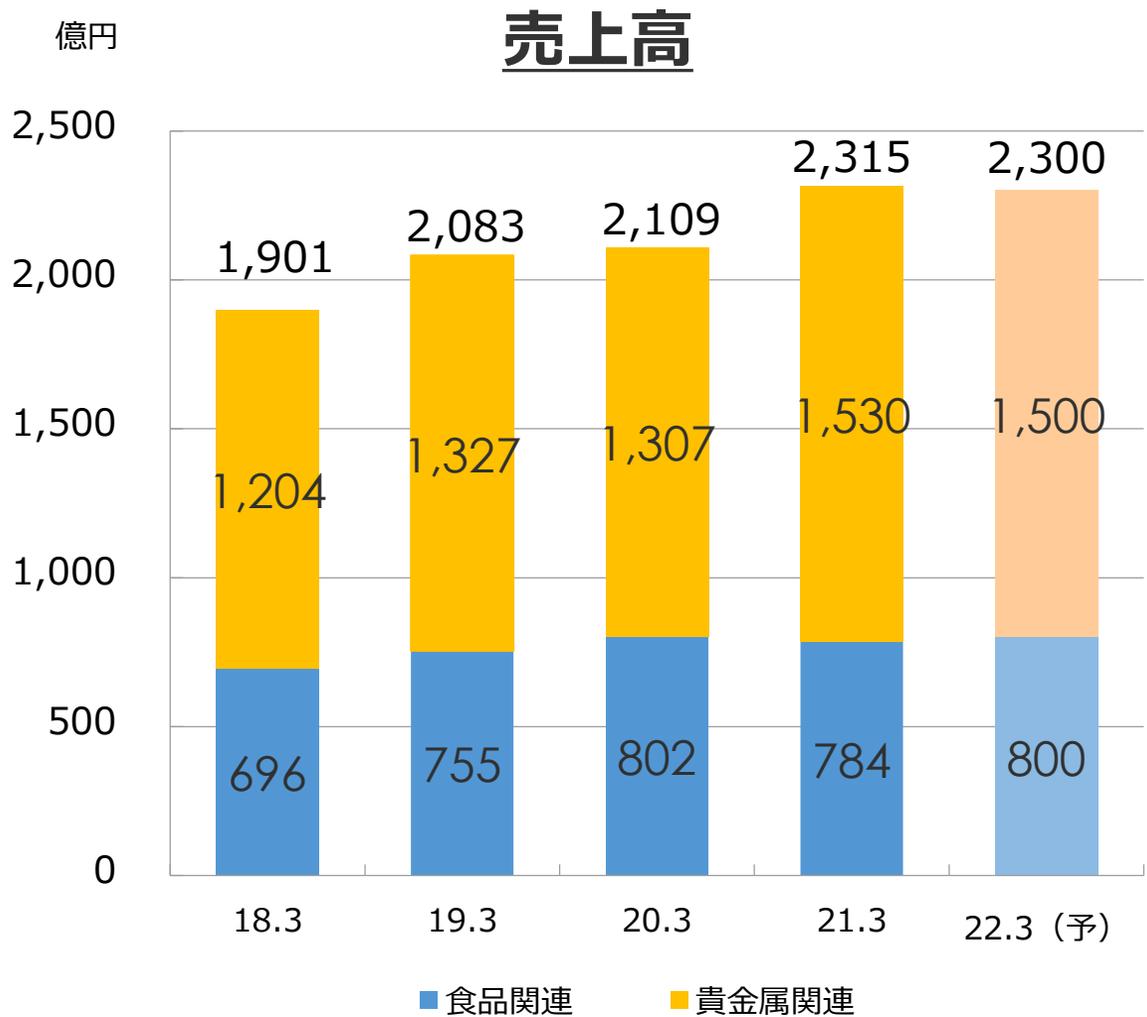
前期比増減要因

○水産品は、すりみは、数量減少・単価下落、その他水産品は、数量増加、単価下落。

○畜産品は、鶏卵は、数量減少・単価下落、畜肉類の数量増加・単価上昇。

○農産品は、数量増加・単価下落。

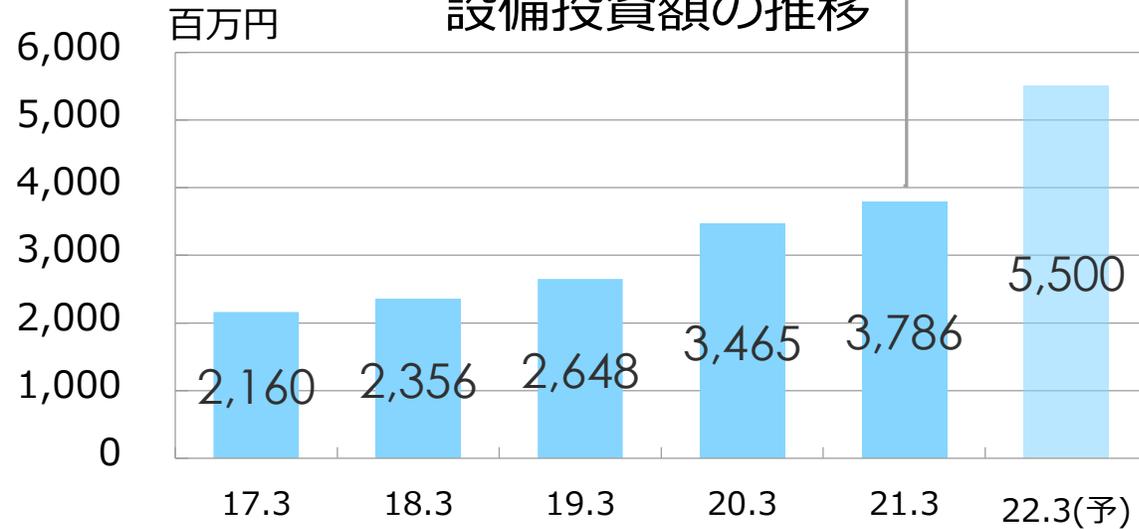
連結決算の業績推移と2022年3月期通期予想



(注) 2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

設備投資の状況

設備投資額の推移



設備投資実績

21.3期

関工場生産設備 (※) 1,271百万円

製錬環境処理設備・拠点拡充等 2,515百万円

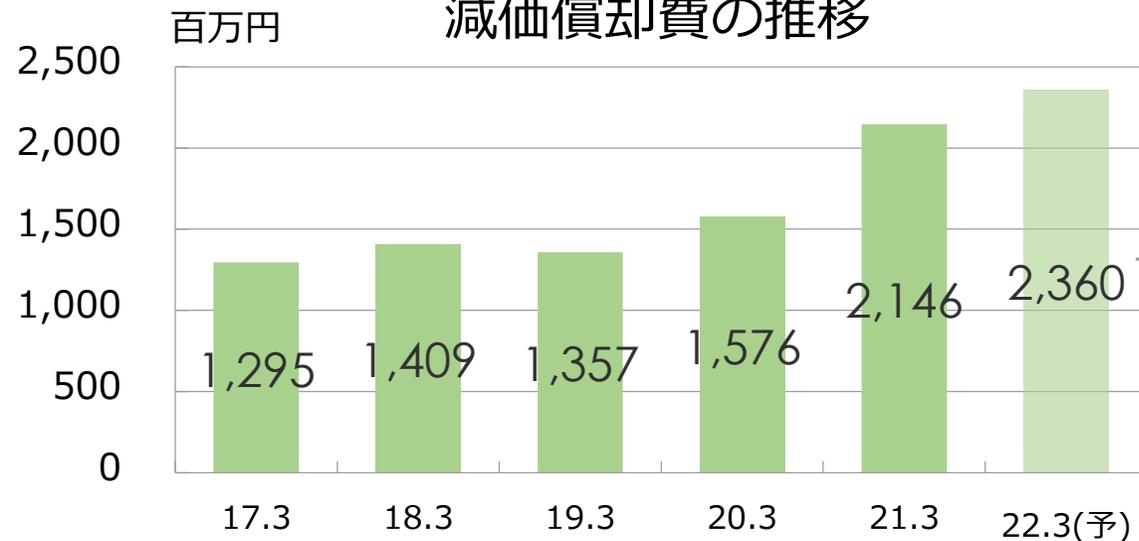
※本投資の総額は、19.3期 (10億円) 20.3期 (12億円) を加えて約35億円となりました。

設備投資予定

22.3期

製錬環境処理設備・拠点拡充等 5,500百万円

減価償却費の推移



減価償却費予定

22.3期

関工場生産設備等に伴う増加 約214百万円



(ご参考) 貴金属相場の推移



2022年3月期
通期見通しの想定相場

- ・金 6,300円/g
- ・銀 80円/g



弊社HP **松田産業** 検索 <https://www.matsuda-sangyo.co.jp/index.html>

本資料は弊社についてご理解を深めていただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料の掲載内容は、現在までにプレスリリース等を行った各種資料に基づいて作成しておりますが、掲載内容の正確性、完全性、相当性、その他一切について何ら責任を追うものではありません。

また、掲載されている文章・グラフなどの欠落・誤謬などにつきましては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。